

相模原市中央区区民会議 報告書

～ “中央区らしさの魅力の創出” への提案 ～



平成26年7月

相模原市中央区区民会議

目 次

1	相模原市中央区区民会議の取組みについて	P 1
2	中央区区ビジョンと中央区区民会議などの関係	P 2
3	テーマ「中央区らしさの魅力を創出する」について	P 3
4	具体的な取組み	P 4
(1)	「中央区らしさの魅力を創出する」にあたっての視点	P 4
(2)	4つの個別テーマについて	P 5
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px 0;">「中央区らしさの魅力を創出する」の具体的な取組み</div>			
- 1	中央区のすばらしい地域資源をつなぐ取組み - その 1 -	P 7
~	さくらでつなぐみんなの輪 ~		
- 2	中央区のすばらしい地域資源をつなぐ取組み - その 2 -	P 11
~	中央区イベントカレンダーによる発信と連携 ~		
	世代や地域をつなげ、絆を生む取組み	P 15
~	区民交流イベントの実施 ~		
	人々の笑顔や活力があふれる取組み	P 18
~	Chu Chu スマイル Café ~		
	未来の子どもたちへつないでいく取組み	P 21
~	ふるさとだ~いすき! ~やさしい気持ちをつないでいく ~		
(3)	取組みの担い手、経費・財源について	P 25
5	審議（検討）経過	P 27
(1)	中央区区民会議の審議内容（概要）	P 27
(2)	中央区区民会議委員名簿、テーマ別グループ名簿	P 29
6	終わりに	P 31
資料			
中央区の「魅力ある資源」			
・	施設・自然・交通・大学・商店・スポーツ・お祭りイベントなどの魅力	P 34
・	暮らしの視点でみた魅力	P 35
	テーマ別グループ検討成果	P 36

1 相模原市中央区区民会議の取組みについて

相模原市が平成22年4月に政令指定都市に移行し、中央区が誕生して4年が経ちました。

中央区内で活動する団体などの代表者で構成し、中央区のまちづくりの方向性や地域活動を活性化するための方策などを話し合う「中央区区民会議」を平成22年7月に設置し、相模原市長から「相模原市中央区区ビジョン」の策定について諮問を受け、審議し、平成24年3月に答申いたしました。

現在の委員により、平成24年7月にスタートしました中央区区民会議では、「相模原市中央区区ビジョン」の基本方針の一つに掲げる「地域資源を生かし、魅力ある中央区を創出する」ことを重点的に取り組むテーマに掲げ、中央区のさまざまな魅力ある資源について洗い出し、“つなぐ”ということを大切にして相互に生かすための取組みについて審議を重ねてまいりました。

このたび、25名の区民会議委員による2年間の審議の集大成として、「中央区らしさの魅力の創出」への提案の報告をとりまとめました。

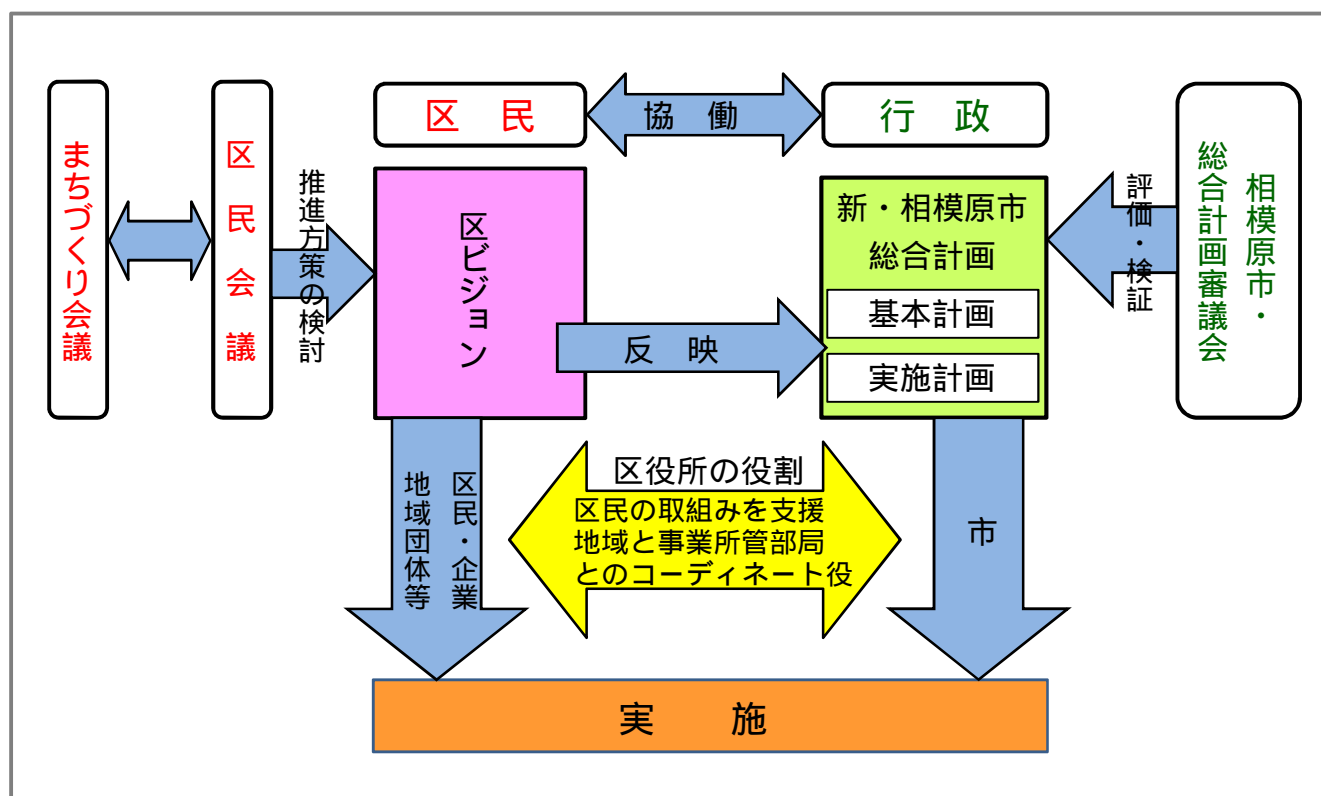
今後、この報告書が生かされ、さまざまな区民や団体が協働して、つながりをもちながら中央区の魅力を作り出していく取組みが進められ、「相模原市中央区区ビジョン」に掲げる中央区のめざす将来像“人とまち、宇宙(そら)をつなぐ中央区”が実現することを中央区区民会議として期待しています。



相模原市中央区区民会議

2 中央区区ビジョンと中央区区民会議などの関係

中央区区民会議は、中央区区ビジョンに掲げた基本方針や取組みなどについて、区内9つの地区の「まちづくり会議」と連携を図りながら、協働の視点から事業推進方策を検討し、区民としての取組みを提案するなど、中央区のめざす将来像“人とまち、宇宙（そら）をつなぐ中央区”の実現に向けた重要な審議会です。

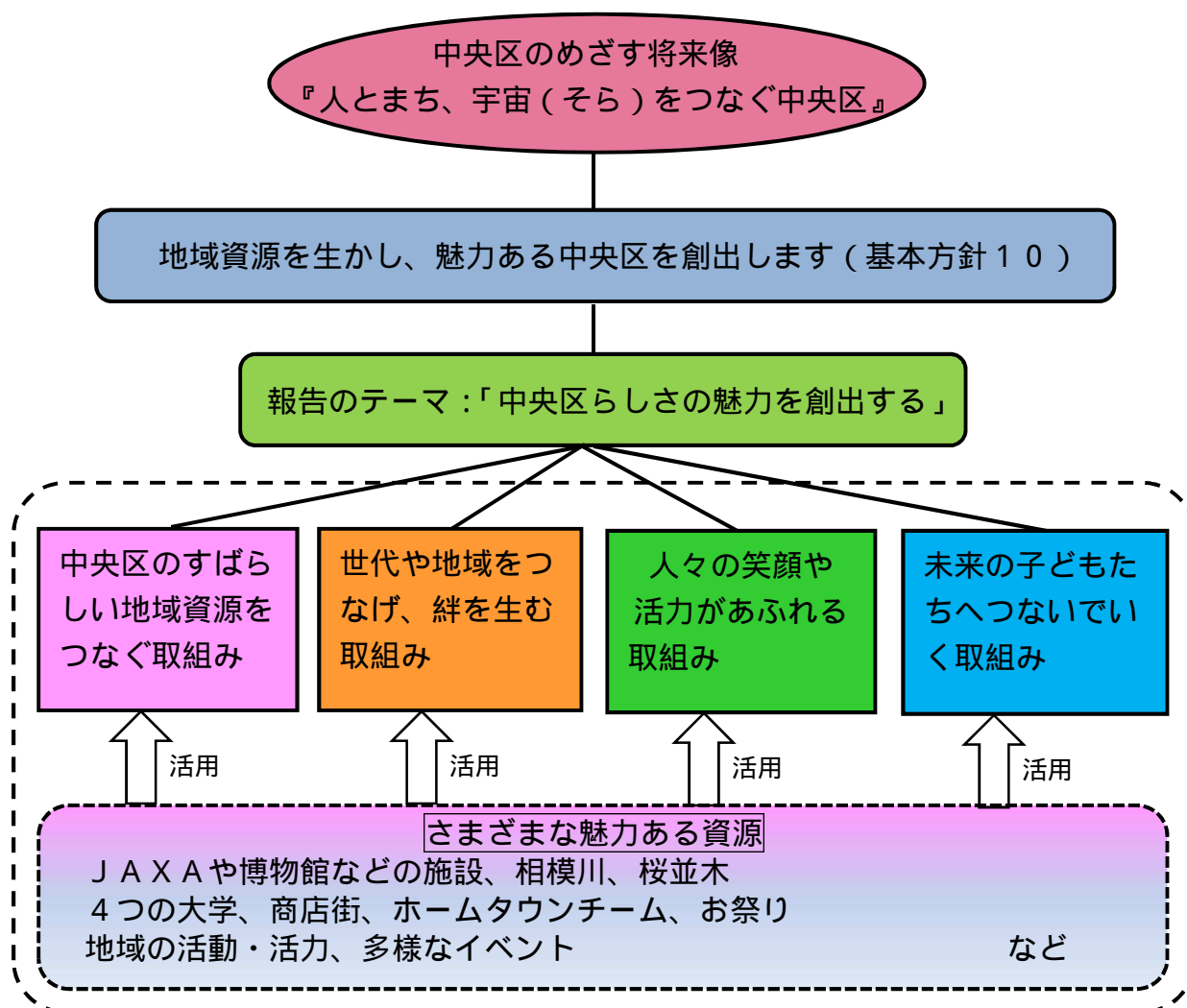


3 テーマ「中央区らしさの魅力を創出する」について

「相模原市中央区区ビジョン」では、中央区の特色、現状と課題を踏まえ、まちづくりの主演となる全ての『人』が笑顔で健康と生きがいをもって暮らす『まち』が、果てしなく大きく広がる『宇宙(そら)』のように未来に向けて続いていくことをめざして、区民と行政がともにめざす将来像を“人とまち、宇宙(そら)をつなぐ中央区”と定めています。

区ビジョンでは、将来像を実現するために14のまちづくりの基本方針を設け、さまざまな分野、項目について取組みを掲げて、めざすまちの将来像を描いています。

今回の報告は、14のまちづくりの基本方針の中から「地域資源を生かし、魅力ある中央区を創出します」という基本方針を選択し、「中央区らしさの魅力を創出する」をテーマに取組内容を検討したもので、中央区の自然や施設など有形の資源のほか、区民活動などの無形の資源も取り上げ、中央区の魅力を創出するための取組みなどについてまとめました。



4 具体的な取組み

テーマ：「中央区らしさの魅力を創出する」

(1) 「中央区らしさの魅力を創出する」にあたっての視点

ア 中央区の「魅力ある資源」

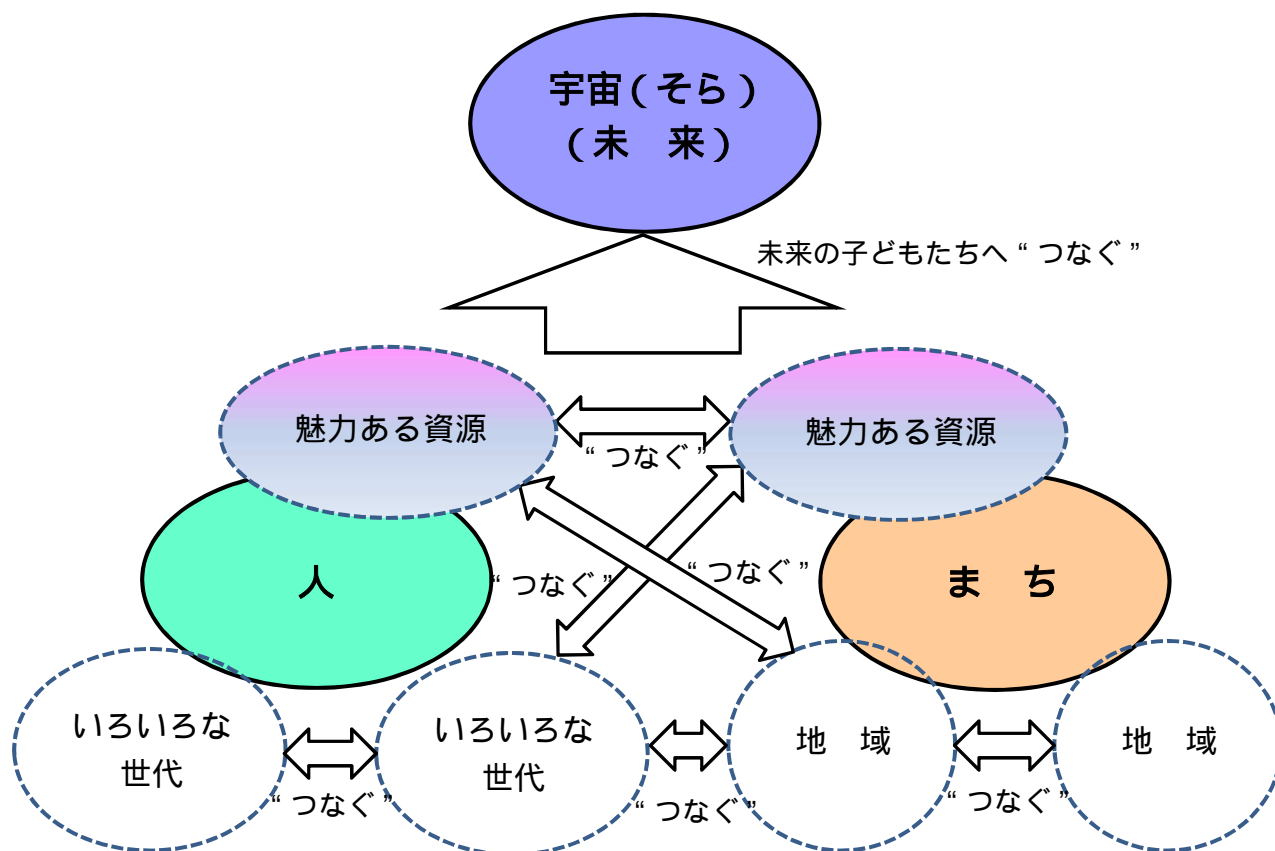
中央区区民会議では、中央区の「魅力ある資源」をさまざまな分野から洗い出し、「中央区らしさの魅力を創出する」取組みを検討する上での題材としました。

施設・自然・交通・大学・商店・スポーツ・お祭りイベントなどの魅力
暮らしの視点でみた魅力

… 資料 (P34 ~) に掲載

イ “つなぐ” を大切にした取組み

取組みは、“つなぐ”ということ大切にしています。「魅力ある資源」を相互に関連づけて魅力を高めたり、人と人が連携・協働したり、有機的に結びついた取組みについて検討しました。



(2) 4つの個別テーマについて

「中央区らしさの魅力を創出する」という大きなテーマについて、中央区のめざす将来像『人とまち、宇宙(そら)をつなぐ中央区』の『つなぐ』ことの大切な4つの要素から4つのテーマを設定しました。

つなぐ

中央区のすばらしい地域資源をつなげて、区の魅力を高め、世代や地域をつなげ、絆を生むまちづくりに取り組みます。そして、人々の笑顔や活力があふれるこのまちを、未来の子どもたちへつないでいきます。

～「相模原市中央区区ビジョン」P23より～

4つの個別テーマ

中央区のすばらしい地域資源をつなぐ取組み

世代や地域をつなげ、絆を生む取組み

人々の笑顔や活力があふれる取組み

未来の子どもたちへつないでいく取組み

この4つのテーマについて、検討、審議して取組みをまとめました。


「中央区らしさの魅力を創出する」の具体的な取組み

- 1 中央区のすばらしい地域資源をつなぐ取組み - その 1 -

テーマの基本的な考え方

テーマ「中央区のすばらしい地域資源をつなぐ取組み」は、中央区の持つ地域資源（市役所さくら通り、市立博物館、JAXA相模原キャンパス、相模川や横山丘陵緑地などの豊かな自然、多彩な祭り・イベント、特産品や飲食店など）の連携を強化し、また、個々の資源の魅力を高めることで、さらなる地域の活性化につなげていくことを目的とします。

取組みタイトル

「 でつなぐみんなの輪」
さくら

取組みの内容・効果など

ア 現状と課題

平成25年度に実施した「中央区区民アンケート」の結果では、中央区の魅力だと思える施設やイベントとして、「市役所さくら通り」や「市民桜まつり」の支持が高く、区民には「桜」が中央区のシンボリックなものであるとの意識があります。

一方、区民意識や区民の一体感の醸成を図るために制定した中央区のシンボルマークやシンボルカラー「さくら色」について、「知らない」と答えた区民がいずれも7割を超え、周知が不足しています。

そこで、中央区のすばらしい地域資源である「桜」に焦点を当て、効果的な取組みを行うことが必要です。

イ 取組みの内容

「桜」は花の咲く期間が短く、また木の寿命は50～60年とされ、戦後まもなく街路樹として植えられた市役所さくら通りの桜並木は、老木化しています。

提案にあたり短期的な取組みと長期的な視点での取組みに分け、中央区のシンボルである「桜」にちなんだ取組みを区民との協働により展開して、区民の輪をつなげることを目標とします。

短期的な取組み

「桜」は花が咲く期間がとても短く、季節が限定されたシンボルになりがちですが、花だけでなくそのシロップや蜂蜜、葉など全ての要素について活用の可能性を調べ、一年を通じて実施できる取組みを行います。

【桜コンテスト】

「桜」にちなんだ様々なコンテストの企画を、学生を含めた区民の参加により実施します。

(取組み例)

- ・「桜」の写真コンテスト
- ・「桜」の料理コンテスト
- ・「桜」のスイーツコンテスト
- ・全国「桜」メニューコンテスト
- ・「桜」をテーマにした俳句や川柳のコンテスト

料理やスイーツのコンテストは、調理できる施設、例えばJA相模原市農産物直売所「ベジたべーな」などの協力を得ながら、区内での開催を目指します。

【桜を使った特産品づくり】

焼酎やお酒など「桜」にちなんだ特産品を作ったり、コンテストでの作品を定番メニューとして常時扱う店舗を開拓するほか、それらの特産品を扱うアンテナショップを開店することで、区民が年間を通して「桜」に親しめるようにします。

(例) ・「桜」のチップを使った鮎の燻製

長期的な取組み

「桜」の木の寿命は50～60年とされ、中央区のシンボルである「桜」を長く残すために手当てをし、長寿命化を図ります。また区民意識や区の一体感の醸成のため、中央区のシンボルである「桜」を区内全体に広げ、次世代の「桜」の名所づくりのために新しい「桜」を植えていきます。

【桜の長寿命化】

老木化した「桜」の木には、樹木医など専門家による調査や点検を行い、結果に応じて適切な手当てを実施します。

【桜の植樹】

中央区に「桜」のスポットを増やします。区内にある空き地や休耕地のほか、例えば相模川の望地河原(3haの国有地)、横山公園や淵野辺公園などに「桜」を植え、「桜」を増やしていく取組みを進めます。

植える「桜」はソメイヨシノに限らず、食用の「桜」や花が咲く時期が異なる「桜」など、様々な種類の「桜」を植えていきます。

また「桜」への愛着や、財源の確保のため「桜の木オーナー制度」を創設するほか、「桜」の植替えのための寄附制度を創設し、区民からの募金などを受け入れます。区民が中央区のシンボルである「桜」を守るしくみを作り、「桜」への区民意識を高めていきます。



市役所さくら通りの桜並木



桜の記念植樹（相模原市民桜まつり）

ウ 取組みの効果

中央区のシンボルマークで、区民の誇りである「桜」をテーマに、区民が積極的に参加する取組みを行うことにより、区民意識と区民の一体感が醸成されます。

中央区の特産品が作られることで、区内の商店などの活性化が期待できるほか、長期的な取組みで「桜」の長寿命化や植樹により新たな名所ができることで地域が活性化します。

実現の方策

ア 協働の内容

短期的な取組み

【桜コンテスト】【桜を使った特産品づくり】

区民が主体となり組織した実行委員会が、取組みの企画立案から運営までを担い、区民の力を生かしてコンテストを実施し、出品作品などによるメニューの提案や開発などに取組みます。

商業者との連携により、メニューや特産品を区内の商店で販売する取組みとします。

長期的な取組み

【桜の長寿命化】【桜の植樹】

区民が中央区のシンボルである「桜」を守るという取組みとして、区民の参加による「桜の木オーナー制度」により、街路樹など公共の「桜」や民有地の「桜」を守り育てる取組みとします。

イ 活用する資源

- ・桜（花びら、葉、シロップ、蜂蜜など）
- ・中央区のシンボルマーク・カラー
- ・大学、高校（学園祭などを含む）
- ・学生（高校・大学生など）
- ・区民のアイデア ノウハウ
- ・JA相模原市農産物直売所「ベジたべーな」
- ・区内の空き地・休耕地
- ・望地河原の国有地（3ha）
- ・横山公園、淵野辺公園 など

ウ 実現に向けたプロセス

区民主体による実行委員会の組織化

短期的な取組み である【桜コンテスト】【桜を使った特産品づくり】を実施するため、区民会議委員のほか、区内の学生やJA相模原市、専門家などをメンバーとした実行委員会を組織します。

桜に関する調査の実施

短期的な取組み の実施にあたり、食材とする「桜」について専門家による調査や講義を実施します。

長期的な取組み である【桜の長寿命化】【桜の植樹】の実施にあたり、樹木医などの専門家による調査を実施します。（市都市建設局土木部による調査などを参考にするとともに、行政と区民などの役割分担を明確化します）。

短期的な取組み

食に関する「桜コンテスト」について、多くの区民が参加する方策を実行委員会で検討します。

長期的な取組み

「桜の木オーナー制度」や募金・寄附制度について、実行委員会が検討します。

事業の実施

事業の実施にあたり、各地区のまちづくり会議などに参加協力をお願いするほか、コンテストの応募作品などを商品として活用する方策を検討し、取組みを進めていきます。

- 2 中央区のすばらしい地域資源をつなぐ取組み - その2 -

テーマの基本的な考え方

テーマ「中央区のすばらしい地域資源をつなぐ取組み」は、中央区の持つ地域資源（市役所さくら通り、市立博物館、JAXA相模原キャンパス、相模川や横山丘陵緑地などの豊かな自然、多彩な祭り・イベント、特産品や飲食店など）の連携を強化し、また、個々の資源の魅力を高めることで、さらなる地域の活性化につなげていくことを目的とします。

取組みタイトル

「中央区イベントカレンダーによる発信と連携」

取組みの内容・効果など

ア 現状と課題

中央区では、年間を通して多種多様なイベントや伝統行事が開催されています。しかし、全て広く区民に案内、周知されているものではなく、イベントごとに個々に情報発信が行われ、開催内容を知る方法は限られている状況です。多くの中央区民がイベントに参加、観覧して、中央区の魅力を感じ、人々や地域の交流が進み地域の活性化が図られるために、区内のイベントなどを集約して情報発信をするしくみや担い手作り、またイベントや行事をつなぎ、連携を図る取組みが必要となっています。

イ 取組みの内容

イベントを開催する区民（主催団体）が開催内容を広報でき、イベントの開催の情報を区民が容易に得られ、参加、観覧できるよう、イベントごとに個々に発信されている情報を集約して発信するしくみを作ります。

イベントカレンダーなどの発信媒体を作成したり、イベント間の連携をとることでイベントをつなぐ取組みを進めていきます。

【イベントカレンダーによる情報発信】

区内のイベントなどの情報をまとめたイベントカレンダーを作成します。

ウェブ媒体...たくさんの地域イベントや行事を広く紹介するために、写真・イラスト・映像を用いた専用のホームページにより目的別、地域別などに分類してイベント情報を随時発信するほか、Facebookなどの即時性に優れたソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）を用いて情報発信を行います。

紙媒体...自治会回覧や区内の公共施設に配架するほか、自治会掲示板などを活用し、多くの区民の目に触れられる場所で、毎月情報発信します。

【イベント間の連携】

区内で個々に開催されているイベントに一体感を持たせる取組みを実施します。

(取組み例)

- ・ イベントのポイントラリーの実施

区内で開催されるイベントや行事に参加ポイントを付与して、ポイントを貯めるラリーを実施し、区の一体感や区民意識を高めます。ポイントを貯めるとグッズや協賛企業を中心とした物販の割引などとの引換えができるしくみを検討します。

- ・ イベントのスタンプラリーの実施

区内で開催されるイベント、例えば地区ごとに開催している「ふるさとまつり(地域市民まつり)」において、スタンプラリーを実施します。地区ごとにスタンプを作成してラリーを行うことで、区内9地区を巡るきっかけとし、参加することで区民としての意識を高めるほか、地域間交流の促進につなげていきます。

- ・ 中央区のイベントマイスターの認定

区内で開催されるイベントに多く参加、来場した区民の中からイベントマイスターを認定します。マイスターには、その知識、情報や経験などを生かして、中央区のイベントの良さを人に伝えて広める情報発信の主体としての活動を依頼します。



大野北銀河まつり



ふれあいいいききフェスタ

ウ 取組みの効果

イベントカレンダーによりイベント情報が広く発信され、各イベントや行事の参加者、来場者が増加し、地域が活性化します。

イベントのポイントラリー、スタンプラリーやイベントマイスターの取り組みにより、多くの区民がイベントに参加、来場するようになり、区内を巡ることで、地域間の交流が進みます。

区民が中央区の魅力を感じ、愛着が高まるとともに、中央区での暮らしを一層楽しむことができます。

実現の方策

ア 協働の内容

【イベントカレンダーによる情報発信】

区民が主体となり組織した実行委員会が、イベントカレンダーやホームページの作成にあたり、内容や構成を検討するほか、区民やイベントの主催団体からイベントに関する情報の提供を受け、多くの区民の意見を参考にして魅力ある紙面・ページにします。

【イベント間の連携】

ポイントラリーは、賛同する企業の協力、協賛により、ポイントに応じて割引などのサービスを提供してもらいます

スタンプラリーは、各地区の協力により、ふるさとまつりの会場にスタンプコーナーを設置し、各会場で景品の引換えを行うなど区の一体感を感じる取り組みとします。

中央区のエントリーマイスターは、知識、情報や経験などを生かして、区内外に区の魅力を発信します。

イ 活用する資源

- ・ 中央区のまつり、イベント、伝統行事など
- ・ 区民のアイデア、ノウハウ
- ・ 区内の企業
- ・ 自治会回覧、掲示板
- ・ 大学、高校（学園祭などを含む）
- ・ 学生（高校・大学生など） など

ウ 実現に向けたプロセス

区民主体による実行委員会の組織化、ルールづくり

事業実施のため、区民会議委員のほか、各イベントの代表者や区内の学生、商店などによる実行委員会を組織します。

実行委員会において、取り組みのしくみやルールを作ります。実施にあたり、区民（主催団体）からの情報提供のしくみや多くの区民の参加、来場を得られる方策を検討します。

区内のイベント、行事に関する調査の実施
区内で開催されているイベントや行事の調査を行います。

企業などへ協力、協賛のお願い

取組みを実施する財源を確保するため、区内の企業や団体に趣旨を説明し、協力、協賛をお願いします。

事業の実施

事業の実施にあたり、各地区のまちづくり会議や自治会連合会などに参加協力をお願いします。継続した取組みとなるよう工夫を加えて進めていきます。

世代や地域をつなげ、絆を生む取組み

テーマの基本的な考え方

テーマ「世代や地域をつなげ、絆を生む取組み」は、「多くの人が集い、交流する場」を創出することで、新たな“人”、“地域の魅力”と出会い、それぞれの地域に関心を持ってもらい、あらゆる世代の交流が進み、地域がつながり、絆が生まれることを目的とします。

取組みタイトル

「区民交流イベントの実施」

取組みの内容・効果など

ア 現状と課題

地域活動に対する意識や行動が変化し、人々のつながりが希薄化していく中、世代間や地区を越えた交流は進まず、様々な地域活動の担い手不足や自治会加入率の低下など、人や地域の交流にとって大きな課題となっています。

中央区内の各地区では、地域の活性化のために様々なイベントが催されていますが、それらのイベントでは、企画・準備や運営に携わる人の確保に苦慮し、実行委員の負担が大きくなってしまっています。新たな担い手の確保が難しいことで、運営者が限られイベントの内容が固定されてしまう傾向にあり、イベントの魅力を失いつつあります。

中央区として、新たな交流の場を創出することで、様々な世代間の交流が進み、地区を越えた交流につながる取組みが必要となっております。

イ 取組みの内容

中央区の様々な世代の人が参加、交流し、地区を越えた交流となる取組みとして、「区民交流イベント」を実施します。

「区民交流イベント」は、既に中央区の各地区で実施されているイベントが抱えている課題などを踏まえ、子どもから高齢者までのあらゆる世代の人が参加して、企画、準備の段階から携わっていきます。

実施にあたり、様々な人が参加できるしくみを作り、企画の段階から携わり当日の運営を担っていただく「参加型」のイベントとします。

様々な世代の人が参加することで、新たな人との出会いが生まれ、交流が進み、イベントを実施した後の日常生活の中でも地区を越えた交流につながり、強い絆が生まれます。

【区民交流イベントの基本的な考え】

- ・ 地域への関心が高まるイベント
- ・ 誰もが参加しやすい楽しいイベント
- ・ 若い世代の参加を促す楽しいイベント
- ・ 子どもから高齢者まで様々な世代が参加できるイベント
- ・ 企画、準備段階から携わり、当日の運営を担う「参加型」イベント



ふるさとまつり

ウ 取組みの効果

「区民交流イベント」を実施することにより、次の3つの効果が得られます。様々な世代の人が参加することで、世代間で理解しあい、交流が生まれます。中央区内の地区間で交流が進む中で、新たな中央区の魅力の発掘につながります。様々な人が企画、準備段階から携わり、当日の運営を担う中で参加者の間に強い絆が生まれます。

実現の方策

ア 協働の内容

学生などの若い世代の参加を促し、次世代の担い手のアイデアを事業として具体化します。

イベントの実行組織である実行委員会は、地域活動団体から選出された人や中央区内の学生のほか、公募のメンバーなどで組織し、多くの区民の主体的な参加により、イベント内容の企画から当日の運営まで担います。

また、イベント当日の運営補助を担うイベントボランティアなど、多くの区民に運営に参加してもらい、運営に参加する人が楽しめ、負担に感じないよう実施します。

行政の役割は、広報誌やホームページなどの情報発信媒体を活用し、広く区民への広報活動を行うとともに、会場の確保、庁内外の関係機関との調整や安全にイベントが開催されるよう支援を行います。

イ 活用する資源

「区民交流イベント」を早い時期に実施するために、様々な資源を有効活用する必要があります。

- ・中央区の魅力
- ・各地区の魅力
- ・中央区内で実施されているイベント
- ・地域活動団体の力
- ・中央区内の学生の力

ウ 実現に向けたプロセス

準備委員会の設置

「区民交流イベント」を実施する前段として、準備委員会を設置します。準備委員会は、区内9地区の代表など少数で組織し、イベントの目的、基本的な枠組みなどを検討して、地域活動団体や中央区内の学生に呼びかけるとともに公募委員の募集を行い、実行組織である実行委員会へ発展させていきます。

実行委員会

実行委員会は、イベントで活用できる資源の確認、既存のイベントの課題を整理し、「区民交流イベント」の実施計画（予算、会場、事業内容、役割分担やイベントボランティアの募集など）を作成し、イベントの実施に向けて準備を進めます。

イベントの実施

イベントの実施後

イベントを実施した後に、継続の要否について検討し、次年度に向けて準備に着手します。

人々の笑顔や活力があふれる取組み

テーマの基本的な考え方

テーマ「人々の笑顔や活力があふれる取組み」は、日常生活の中で人々が交流できる拠点になる「コミュニティ」の場が必要であり、「食」、「広報」、「施設」、「商店街」、「安心な暮らし」、「人材育成」を重要な要素・分野として関連させた取組みにより、人々が笑顔になり、活力があふれてくる中央区になることを目的とします。

取組みタイトル

「Chu Chu スマイル Café」

取組みの内容・効果など

ア 現状と課題

ライフスタイルの多様化、核家族化や少子高齢化など社会環境の変化により地域コミュニティの希薄化が進み、自治会などの各地域団体の加入率が低下しています。また高齢者だけの世帯や子育てで悩む世帯などは増加し、地域とのつながりから疎遠になる状況が発生しています。

高齢者を狙った悪徳商法や振り込め詐欺、孤独死、子育てでの孤立や虐待などの問題が発生し、それぞれの世代で気軽に相談できる仲間がいない、居場所がない、世代間の交流がないという状況の改善が喫緊の課題となっています。

イ 取組みの内容

前述の課題を改善するために、中央区の各地区に年齢を問わず様々な世代が気軽に立ち寄れる居場所、交流が図れる拠点として、「Chu Chu スマイル Café」を立ち上げます。「誰でもいつでも」を大切に、常設的な居場所とし、高齢者の方や子どもが歩いて立ち寄れる拠点を目標とします。

趣旨を理解し、取組みに協力できる商店や個人宅などが「Chu Chu スマイル Café」となり、喫茶や飲食だけでなく、それぞれテーマを持ち得意な分野の取組みや催し物を実施します。取組みの内容は、それぞれの「Chu Chu スマイル Café」の主催者が企画、実施します。（トイレや休憩スペースも提供します。）

また、利用者がやりたいことを自由に実現できるようにしくみを作るとともに、その地区の様々な情報などを積極的に発信していきます。

「Chu Chu スマイル Café」の基準作りや認定など、取りまとめの機能をもつ Chu Chu スマイル Café 実行委員会を事務局として設置します。

「Chu Chu スマイル Café」での活動により、人と人、テーマをつなぐ出会いの場となり、情報収集、情報発信の場になります。



カフェで楽しく交流する人たち

ウ 取組みの効果

「Chu Chu スマイルCafé」が気軽に立ち寄れて交流が図れる地域の拠点となり、新たなコミュニティが生まれます。

新たなコミュニティが生まれることにより、既存のコミュニティの必要性も認識され、自治会や子ども会などの地域団体の加入率が上がることが期待できます。

「Chu Chu スマイルCafé」で友人、知り合いが出来、気軽に話せるようになることで、人々の笑顔が増えていきます。

実現の方策

ア 協働の内容

「Chu Chu スマイルCafé」になる商店や個人宅は、「Chu Chu スマイルCafé」のプレートやのぼりを掲げ、出会い、情報発信の場となるよう、それぞれのテーマにより取組みなどを行います。

事務局（Chu Chu スマイルCafé 実行委員会）の役割は、「Chu Chu スマイルCafé」になるための基本的な基準を決定し、募集をし、審査・認定を行います。また、「Chu Chu スマイルCafé」の運営者の募集を行うとともに、新規開拓のための活動を行います。

行政の役割は、区役所内やまちづくりセンターなどに情報発信スペースを設けるとともに、ホームページなどにより「Chu Chu スマイルCafé」の一覧や取組内容などの情報発信を行います。

イ 活用する資源

- ・既存の店舗
- ・空き店舗
- ・個人宅
- ・学習塾の昼間の空き時間
- ・公共施設 など

ウ 実現に向けたプロセス

事務局「Chu Chu スマイル Café」実行委員会の設立

「Chu Chu スマイル Café」の取組みの主旨に賛同する人で、「Chu Chu スマイル Café」実行委員会(またはNPO法人)を立ち上げ、事務局とします。

「Chu Chu スマイル Café」の基準作り、募集及び認定

事務局は、「Chu Chu スマイル Café」になる基準を作り、基準に基づき、「Chu Chu スマイル Café」になりたい店舗などを募集し、審査の後、認定を行います。

広報、営業活動

事務局は、Webを立ち上げて情報発信するとともに、新規の「Chu Chu スマイル Café」開拓のための活動や広報を行い、随時募集を行います。

また、運営主体を募集し、空き家や空き店舗などとのマッチング作業を行い、「Chu Chu スマイル Café」を増やしていきます。

情報は、随時更新しタイムリーなイベントや興味をひく情報を提供していきます。

未来の子どもたちへつないでいく取組み

テーマの基本的な考え方

テーマ「未来の子どもたちへつないでいく取組み」は、望ましい「子ども像」を「人や地域、自分が好きになれる子ども」、「誰にも優しく、思いやりにあふれ、地域や人のことを考え行動することができる子ども」、「健康で友達といっぱい遊べる子ども」として、子どもたちの中央区というふるさとを愛する気持ち、誰に対してもやさしい気持ちを育むことを目的とします。

取組みタイトル

「ふるさとだ～いすき！ ～やさしい気持ちをつないでいく～」

取組みの内容・効果など

ア 現状と課題

ライフスタイルの多様化、核家族化や少子高齢化など社会環境の変化により地域コミュニティの希薄化が進み、自治会や子ども会へ加入しないなど地域の活動へ参加しない人が増えています。

人や地域とのつながりが希薄になり、あいさつができない子どもの増加、外で遊ぶ子どもの減少など、地域や世代を越えた交流が少なくなっています。また、公共のルールが守られない状況が見られます。

このような課題に対処して、安全で安心して暮らせる中央区を作ることは、「自分の街」への愛着が子どもたちに生まれることへとつながります。

子どもたちの心に中央区を「ふるさととして愛する気持ち」が育つために、地域や人とつながる取組みが必要となっています。

イ 取組みの内容

前述の現状と課題を踏まえ、近隣や地域とのつながりが希薄になっている現状を変えるため、「つながるきっかけづくり」として、人と人を結びつける（人を集める）取組みを行います。

参加しやすく楽しいイベントを企画し、イベントに参加することで地域とのつながりや世代間の交流を深めるきっかけにしていきます。

（イベントの例）

馴染みのあるイベント、取組みをベースに実施します。

- ・シゲンジャーを活用した親子ゴミ拾い大会

参加した子どもたちが「参加してよかった」と思えるしくみの工夫（例えば、ゴミと引き換えに参加賞がもらえるなど）をします。

- ・地域花いっぱい運動（地域の花壇などへの花植）
子どもたちの名前をプランターにつけるなど、「自分の花壇」を作ったという達成感が味わえるようにします。
- ・親子で一緒に畑で収穫
収穫した野菜を使用した料理教室を実施します。
- ・中央区の今昔話会（地域のお年寄りとの交流）
- ・子ども新聞の発行
中央区全体で小学生などを対象に子ども記者の募集を行います。

花壇の完成による達成感、収穫した野菜を持って帰れることなど、親も一緒に楽しめて参加したいと感じる取組みとします。

また参加しやすいイベントとするために、次のことを十分に考慮します。

- ・参加しやすい時間帯、場所に配慮します。
- ・子どもとともに参加する親が参加しやすいと感じるために、親の負担を少なくします。
- ・子ども自身が体験を通して学べて、参加者同士で一体感が生まれる取組みとします。
- ・内容として、容易に参加できるイベントとします。
- ・参加しやすい日程や安全が確保された会場の設定に配慮します。

そのほか、取組みを継続していくために、

- ・できるだけ経費をかけないようにします。
- ・繰り返し参加したくなる工夫として、例えばスタンプラリーやポイントラリーの活用、統一グッズや名札などを用いていきます。
- ・口コミで新たな参加者を増やしていきます。
- ・地域間のつながりのため、実施地域の拡大を図ります。



子どもたちの農業体験



親子で花の植栽作り

ウ 取組みの効果

参加する子どもについて、次の3つの効果が得られます。

一緒に参加し、作業することにより、子ども同士の仲間意識が芽生えます。地域を清掃したり、花を植えることで街がきれいになり、中央区の昔話を聞くことで、中央区の歴史に目を向けるきっかけになり地域への愛着心が醸成されます。

自分達で企画、運営を行うことで企画力や行動力が育成されます。

地域の効果として、イベントを通じて地域や世代間の交流が深まることにより、地域が活性することが期待されます。

実現の方策

ア 協働の内容

地域で活動する自治会、公民館活動団体、地域のボランティア団体や子ども会が企画・運営の中心となります。さらに、高校や大学のボランティアサークルなどの参加により、学生の発想を生かした企画を取り入れ、遊び心を入れた楽しいイベントにします。

保育園、幼稚園、学校、PTAや子ども会などの協力により、参加者の募集を行います。

そのほか、「地域で活動したい」という人が多いと思われる退職後の世代(団塊世代)や世代間交流を図るために、地域の老人会や高齢者施設などに参加を呼びかけます。

効果的な広報の手段として、地域の掲示板やマンションなどの集合住宅の玄関ホール、エレベーターの中などにポスターを掲示します。

イ 活用する資源

- ・自治会、子ども会、学生ボランティア、老人会(クラブ)
- ・地域の方(地域活動に意欲がある退職後の世代や子育て中などの若い世代など)
- ・小学校、中学校、高校、大学、保育園、幼稚園、PTA
- ・地域のスポーツクラブ(少年野球、サッカーなど)
- ・公民館
- ・花のまちづくり・みどりいっぱい運動(まち・みどり公社事業)
- ・シンボルマーク、シンボルカラー(統一グッズなどへ活用)
- ・公園、スポーツ施設
- ・ホームタウンチーム
- ・JA相模原市農産物直売所「ベジたべーな」 など

ウ 実現に向けたプロセス

実施範囲の検討

イベントを実施する範囲について、子どもの参加しやすさなどを考慮して、検討します。地区や公民館を基本単位としますが、地域によっては小学校区や自治会単位などもっと小さな範囲で実施することも検討します。地域ごとでの取組みとなりますが、実施時期や使用する物品などを統一し、中央区としての一体感を図ります。

実行組織の検討

実行委員会を立ち上げます。自治会、こども会、公民館への協力依頼・企画に参加してもらう大学生や退職後の世代の方の募集を行います。

実施計画の作成

地域資源などを確認し、開催場所の検証、経費の概算や事業効果を検討し、実施計画を作成します。

イベントの準備、実施

予算、開催場所を確保し、協賛者、協力者、参加者を募集します。

イベントの実施

イベントの実施後

イベントを実施した後、反省点を話し合い、イベントの継続などを検討します。


(3) 取組みの担い手、経費・財源について

ア 担い手

取組み、事業を企画、実施し運営していく「担い手」は、趣旨・目的に賛同する区民や団体などで構成し、区役所など行政との協働の視点から取組み、事業を推進していきます。また、各テーマの取組み、事業について、その内容により関連し協働できる団体、企業や学生などが、「担い手」または「協力者」などとして参加します。

各テーマの取組み（タイトル）について、次のとおり「担い手」、「協力者」が想定されます。

(ア) テーマ「中央区のすばらしい地域資源をつなぐ取組み - その1 - 」

タイトル：“  でつなぐみんなの輪 ”
さくら

- ・「桜」を材料とした商品開発に係る産業界・農業団体
- ・「桜」の商品を販売する商業者・飲食業者
- ・「桜コンテスト」の企画に参加する学生
- ・「桜の長寿命化」に係る専門家・学術機関 など

(イ) テーマ「中央区のすばらしい地域資源をつなぐ取組み - その2 - 」

タイトル：“ 中央区イベントカレンダーによる発信と連携 ”

- ・区内のイベント、行事の主催団体
- ・ポイントラリーに協賛していただける企業 など

(ウ) テーマ「世代や地域をつなげ、絆を生む取組み」

タイトル：“ 区民交流イベントの実施 ”

- ・区内で活動する各種団体
- ・区内の商業者
- ・企画・運営に参加する学生 など

(エ) テーマ「人々の笑顔や活力があふれる取組み」

タイトル：“ Chu Chu スマイル Café ”

- ・「Chu Chu スマイル Café」に参加する店舗や個人 など

(オ) テーマ「未来の子どもたちへつないでいく取組み」

タイトル：“ ふるさとだ～いすき！～やさしい気持ちをつないでいく～ ”

- ・子どもに関連する福祉・教育関係機関
- ・地域で活動する各種団体

- ・ 企画・運営に参加する学生
- ・ 高齢者や高齢者施設 など

イ 経費・財源

事業、取組みを進めていくために必要とする支出経費は、それぞれ企画、実施する内容により決定します。

収入は、事業、取組みの参加者からの負担金、趣旨・目的に賛同していただく協賛者からの協賛金、行政などからの補助金・交付金及び負担金などを財源とします。

5 審議（検討）経過

平成24年7月にスタートしました第2期中央区区民会議において、「中央区らしさの魅力を創出する」を検討、審議する大きなテーマと決定した後、さらに4つのテーマを設定しました。

テーマを集中的に検討、審議するため、中央区区民会議の委員は4つのテーマ別のグループに分かれ、ワークショップの手法によりテーマについて取組みを話し合いました。（P30「テーマ別グループ名簿」参照）

中央区区民会議全体として、4つのテーマの取組みをまとめ、報告書の完成に至りました。

（1）中央区区民会議の審議内容（概要）

会議回次・開催日	審議・検討内容
第17回 平成24年8月8日	中央区区民会議の概要などについて 今後の進め方について
第18回 平成24年10月11日	「相模原市中央区区ビジョン」の概要について 審議テーマ、進め方についての全員の意見を確認
第19回 平成24年12月6日	審議テーマの決定 中央区区ビジョンの基本方針10から「地域資源を生かし、魅力ある中央区を創出する」に決定
第20回 平成25年2月8日	「中央区の魅力ある資源」の検討 グループワークにより実施
第21回 平成25年5月24日	今後の中央区区民会議の審議内容と日程について 「中央区の魅力ある資源」の確認 審議テーマを分けた4つのテーマを決定 中央区のすばらしい地域資源をつなぐ取組み 世代や地域をつなげ、絆を生む取組み 人々の笑顔や活力があふれる取組み 未来の子どもたちへつないでいく取組み
第22回 平成25年7月31日	テーマの検討方法をワークショップで行うことに決定 講演「地域をつなぐまちづくり」 講師 多摩美術大学准教授 森脇裕之氏
第23回 平成25年9月12日	4つのテーマごとのグループでワークショップ (1回目) 主に「テーマの趣旨の共有」と「アイデア出し」

会議回次・開催日	審議・検討内容
第 24 回 平成 25 年 10 月 18 日	4 つのテーマごとのグループでワークショップ (2 回目) 主に「アイデアの分析、比較検討」
第 25 回 平成 26 年 1 月 20 日	4 つのテーマごとのグループでワークショップ (3 回目) 主に「具体的な取組みの絞込みや実現方策などを検討」
第 26 回 平成 26 年 3 月 3 日	4 つのテーマごとのグループでワークショップ (4 回目) 主に「具体的な取組みや実現方策のまとめ」
第 27 回 平成 26 年 5 月 29 日	4 つのテーマ、それぞれの取組み内容のまとめ まとめ方、構成について
第 28 回 平成 26 年 7 月 4 日	相模原市中央区区民会議報告書案について

グループでのワークショップ



テーマごとのグループに分かれて、
中央区の地域資源を生かした取組みについて、
アイデアを出し合い、話し合い、深めていきます。

～ 第 2 4 回 (平成 25 年 10 月 18 日) から ～



グループで話し合った後、
全体で成果を発表して、意見を出し合い、
会議全体で共有を図ります。

～ 第 2 5 回 (平成 26 年 1 月 20 日) から ～

(2) 中央区区民会議委員名簿、テーマ別グループ名簿

ア 中央区区民会議委員名簿

(氏名 50 音順 敬称略)

氏 名	所属団体	備 考
天野 未絵	公募委員	
飯島 泰裕	学識経験者(青山学院大学)	会 長
石井 トシ子	NPO 法人男女共同参画さがみはら	
井上 政市	相模原交通安全協会	
内田 紀子	相模原市私立保育園園長会	
小俣 シゲ子	相模原市農業協同組合	
河本 博	大野北地区まちづくり会議	
木村 清	横山地区まちづくり会議	
小磯 英次	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会	
齋藤 奈美	NPO 法人さがみはら環境活動ネットワーク会議	
代田 昭	中央地区まちづくり会議	
武井 弘吉	小山地区まちづくり会議	
竹田 幹夫	星が丘地区まちづくり会議	
田代 明寛	清新地区まちづくり会議	
田所 昌訓	相模原市自治会連合会	
永井 廣子	相模原市立小中学校PTA連絡協議会	
長嶋 玉枝	田名地区まちづくり会議	
中西 豊和	相模原市民生委員児童委員協議会	
新野 道子	国際ソロプチミスト相模	
野村 知子	学識経験者(桜美林大学)	副会長
長谷川 光義	上溝地区まちづくり会議	
平林 清	光が丘地区まちづくり会議	
星 清次	公募委員	
矢澤 美穂	公募委員	
横山 房男	相模原商工会議所	

イ テーマ別グループ名簿

(氏名 50 音順 敬称略)

テーマグループ	委員氏名	所 属	担当職員
テーマ1グループ 「中央区のすばらしい地域資源をつなぐ取組み」 計6名	石井 トシ子	NPO 法人男女共同参画さがみはら	境田 谷迫
	木 村 清	横山地区まちづくり会議	
	代 田 昭	中央地区まちづくり会議	
	田所 昌訓	相模原市自治会連合会	
	長嶋 玉枝	田名地区まちづくり会議	
	星 清次	公募委員	
テーマ2グループ 「世代や地域をつなげ、絆を生む取組み」 計6名	井上 政市	相模原交通安全協会	青木 大塚 八木
	武井 弘吉	小山地区まちづくり会議	
	新野 道子	国際ソロプチミスト相模	
	長谷川 光義	上溝地区まちづくり会議	
	平 林 清	光が丘地区まちづくり会議	
	矢澤 美穂	公募委員	
テーマ3グループ 「人々の笑顔や活力があふれる取組み」 計6名	小俣 シゲ子	相模原市農業協同組合	柴田 渡辺
	河 本 博	大野北地区まちづくり会議	
	齋藤 奈美	NPO 法人さがみはら環境活動ネットワーク会議	
	田代 明寛	清新地区まちづくり会議	
	中西 豊和	相模原市民生委員児童委員協議会	
	横山 房男	相模原商工会議所	
テーマ4グループ 「未来の子どもたちへつないでいく取組み」 計5名	天野 未絵	公募委員	齊藤 森
	内田 紀子	相模原市私立保育園園長会	
	小磯 英次	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会	
	竹田 幹夫	星が丘地区まちづくり会議	
	永井 廣子	相模原市立小中学校PTA 連絡協議会	

飯島委員（中央区区民会議会長）、野村委員（中央区区民会議副会長）は、全体を統括

「担当職員」は、テーマごとのグループでのワークショップの進行を担った中央区役所地域政策課（平成25年度当時、現在の地域振興課）の職員

6 終わりに

相模原市中央区区民会議 飯島泰裕会長から

地方分権が叫ばれて久しく、現在、公私協働あるいは市民協働の街づくりが推進されています。相模原市の政令指定都市への移行に伴い、区が制定され、区長と共に区民会議が設置されました。相模原市中央区の区民会議では、第1期に「相模原市中央区区ビジョン」を策定し、平成24年7月からスタートした今期(第2期)では、この区ビジョンに基づき「地域資源を活かし、魅力ある中央区を創出する」を重点テーマに、具体的な取組みの提案を行いました。

今期の区民会議は、多くの回をワークショップというスタイルで実施しました。ワークショップ導入にあたっては、相模原市職員や希望する委員がワークショップの研修に参加して、行政の審議会として適切な方法なのか?などの不安がよぎったりもしました。しかし、結果的に、和気あいあいと議論を重ね、相模原市中央区に共通の明るい夢を抱き、様々な良い具体的な取組みが数多く提案され大変実り多い会議となりました。

会議では、中央区の地域資源には何があるのか?明示的なもの、内在的なもの、あるいはつなげると素晴らしいものなど、その発掘から議論し、ハード・ソフト系、暮らしの視点で見た魅力などの視点から整理しました。また、モノとモノをつなぐ、人と人を、あるいは世代をつなぐなど、こうした地域資源をつなげて、大きな魅力となる取組みを提案頂きました。この議論の過程、特に中間段階で、大変意義のある資料が作成されました。そこで、異例のことではありますが、資料編として、それらを巻末に掲載しました。今後の議論でも活用頂ければ幸いです。

「具体的な取組み」は、4テーマ5提案あります。いずれもこれからの相模原市中央区の発展に欠かすことのできないものであり、相模原市中央区の大飛躍につながるものです。これらの取組みに対して、是非、行政の積極的実現努力を期待し、相模原市中央区の市民、企業、大学、NPO、各種団体なども主体的に参加して、協働の街づくりを成功させて行きたいと思えます。

相模原市中央区区民会議 会長 飯島泰裕
(青山学院大学 教授)

相模原市中央区区民会議 野村知子副会長から

ここに第2期の中央区区民会議の区ビジョン「中央区らしさの魅力を創出する」が、完成しました。私からは、この報告書からは、見えにくい成果についてお伝えしたいと思います。

昨今、計画は、報告書の中身だけでなく、どのように計画が作られたのか、そのプロセス・過程にどのように住民が参加したのかが大切だといわれています。

第一の成果は、区民会議の委員という限られたメンバーではありますが、徹底した住民参加を図り、5回にわたるワークショップ（以下、WS）を経て、計画が創りあげられたことです。WSは、アメリカの開発優先の都市開発からの反省から生み出され、様々な国籍をもつ住民が共に意見を出し合いながら、参加者が納得できるまちづくりを進められるように編み出された話し合いの手法です。今回、WSの本場アメリカでまちづくりの現場に携り、日本でWSを広めてきた浅海義治氏を講師にお招きした、職員研修から始まりました。全てのWSの当日の進め方の計画、進行役、内容の整理を一手に担ったのは、相模原市中央区地域政策課（当時、現在地域振興課）の職員です。今回の一連の計画づくりは、職員の研修にもなり、相模原市に人的な知的財産をもたらしたことは、第二の成果といえるでしょう。

職員の手厚いサポートに支えられ、意見を出し尽くすまで議論されたのは、区民会議委員のみなさんです。各々が興味のもてるテーマに分かれて議論していきましたが、ほかのグループ提案に対して、励ましたり、注文を加えたりし、お互いに関心をもちながら議論を進めていき、全員で提案を練っていききました。最後は、自らのグループ提案に限りない愛情を注ぎこみ完成したのがこの報告書です。全員参加で、思いのこめられた提案ができあがったことが第三の、そして最大の成果だと自負しています。

計画の本当の評価は、策定後に明らかになります。区民会議委員と職員が協働して生み出した計画ですが、中央区に住んでよかった、笑顔が増えた、楽しい思い出がもてた、ふるさとといえる中央区になるように、区民の皆さんに育てていただいでこそ生きた計画となります。

このような素晴らしい出会いと、住民参加の場面に立ち合わせていただき、ありがとうございました。

相模原市中央区区民会議 副会長 野村知子
（桜美林大学 教授）

資 料

中央区の「魅力ある資源」

地域資源を生かし、「中央区らしさの魅力を創出する」取組みを検討するために、まず、中央区の「魅力ある資源」をグループワークで検討して、洗い出しました。

施設・自然・交通・大学・商店・スポーツ・お祭りイベントなどの魅力
..... P 34

4つのグループに分かれて、中央区のJAXA、相模川ふれあい科学館、各公園、相模川、4つの大学や各お祭りなど、主に有名で有形な資源を洗い出し、活用して魅力を高めるアイデアなどについて話し合いました。

暮らしの視点でみた魅力
..... P 35

中央区の魅力は、有名な資源だけでなく、日常の暮らしの中でも感じる場面や人々の活動もあるのでは...と、「暮らしの視点でみた魅力」を探してみました。

4つのテーマ別のグループ検討（ワークショップ）成果

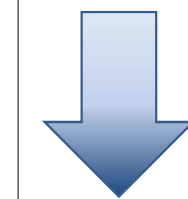
4つのテーマ（P 5に説明）について、グループに分かれて中央区の「魅力ある資源」を生かした「中央区らしさの魅力を創出する」取組みを検討した成果です。

それぞれのテーマについて、「アイデア出し」、「アイデアの分析、比較検討」した結果が掲載されています。

テーマ1	中央区のすばらしい地域資源をつなぐ取組み	P 36
テーマ2	世代や地域をつなげ、絆を生む取組み	P 38
テーマ3	人々の笑顔や活力があふれる取組み	P 42
テーマ4	未来の子どもたちへつないでいく取組み	P 44

施設・自然・交通・大学・商店・スポーツ・お祭りイベントなどの魅力

ハード系
(主に施設、街並みや自然環境など有形のもの)



ソフト系
(主に人や団体の活動など)

分野	魅力の名称	魅力を高めるプラスアルファのアイデア
施設	市立博物館	
	JAXA	交通網の整備 年間を通じた催し物の充実 銀河連邦との関わりと地域 KU-MA(子ども・宇宙・未来の会) 出前宇宙講座 市立博物館と天台観測など共同で 中央区の文化と未来が集合する拠点として
	国立近代美術館フィルムセンター	
	相模川ふれあい科学館	地産地消レストラン
	相模総合補給廠	新市庁舎 計画実施までパークゴルフ場を常設 未来に対する可能性(区の核) リニア(橋本)と一体化したまちづくり 小田急多摩線延伸と土地利用 広大な敷地の活用 大きな風揚げ大会
	旗本岡野殿様家	市内唯一の殿様(龍像寺に史跡)
スポーツ施設	グリーンプール	
	銀河アリーナ	もっと安全に!(広場が駐車場になって危ない)
	小山公園ニュースポーツ広場	
	【新企画・新施設などプラスアルファのアイデア】	サッカー場
公園	淵野辺公園	市民スポーツ施設の拡充 健康体操を行える場 鹿沼公園・横山公園 動物ふれあい広場 スポーツイベントとコラボ 交通網の整備 プロ野球誘致
	鹿沼公園	交通安全講習イベント(屋台や大道芸も) 鹿沼公園で「でいらぼっち」の全国サミット 伝説と宇宙を結ぶ鹿沼公園 D52機関車復活
	横山公園	横山丘陵緑地 総合的な施設整備 横山公園でのラジオ体操
	道保川公園	
	淵野辺公園留保地	子ども冒険広場作り パークゴルフ場 防災訓練の活用
	冒険あそび場	
	豊かな街路樹	
	街なかの農地	
自然・農業	田名休耕地	ひまわり畑(中央区名物へ、種・化粧水・油など)
	【新企画・新施設などプラスアルファのアイデア】	市民農園の活用
	相模川	川遊び 鮎釣り 泳げ鯉のぼり
	相模川河川敷	親水公園 桜の植樹
	境川	遊歩道
	川沿い散策ルート	新堀用水路~ふれあい科学館~望地弁天(水田) 田名向原遺跡で古代人の夢
	旧石器ハテナ館(遺跡とセット)	烏山用水~かつ坂遺跡までの散策コース
交通	市役所さくら通り	桜の保存 桜まつりの充実 クリスマスイルミネーション 年の瀬の風物詩に
	相模原駅周辺自転車道	
	国道16号自転車道	自転車マラソン 自転車パフォーマンス
	自転車道	区内を巡る自転車専用道
	コミュニティバス	自転車ラック型 サイクル&バスライド
	発展の可能性	相模総合補給廠返還予定地 相模線複線化 さがみ縦貫道 企業誘致
		小田急多摩線延伸 市内の名所を巡る巡回バスの創設(1回200円くらい)
	【新企画・新施設などプラスアルファのアイデア】	

分野	魅力の名称	魅力を高めるプラスアルファのアイデア
大学	淵野辺の大学群	相模原(中央区)名所遺跡めぐりバスツアーの計画(淵野辺公園~JAXA~補給廠~桜~史跡)
	4つの大学(青山学院大学・桜美林大学・麻布大学・和泉短期大学)	学生の力 共同でイベントもっと交流を深める
商店	商店街	作る・生きる・活動する、コミュニティの場に
	淵野辺にこここ星商店街	
	商店(各地区・西門・上溝・淵野辺etc)	岡本太郎の手だけでなく、商店街の空間が貴重
	こだわりの個人商店 集積しているラーメン店	
スポーツ	ホームタウンチーム スリーフットボールチーム	
ゆるキャラ	こけ丸の全国PR活動	商品開発 こけ丸焼き グランプリイベント 可愛いゆるキャラ
	【新企画・新施設などプラスアルファのアイデア】	市民桜まつり JAXAのロケットを展示
祭事・イベント	泳げ鯉のぼり相模川	交通の整備 トイレの充実
	花火大会	交通の整備 トイレの充実
	上溝夏祭り	
	相模ねぶたカーニバル	大々的にPR ねぶたカーニバルを中央区の祭りに
	ふるさとまつり	つなげる対象としてのイベント スタンプラリー的な仕組みを
	盆踊り	他地区との交流ができるように 他地区のおまつりの日程が知りたい
	祭事・イベント	中央区イベントカレンダーの作成と地域コラボ 大人の作品をプラスし、芸術作品を一堂に集める 児童のみでなく一般市民の来賓で子どもの可能性の共有
	さがみ風っ子展	【新企画・新施設などプラスアルファのアイデア】 文化と物産の交流企画
活動	地域子育て支援	
	絵本コンクール活動	9小学校で展開 全市で活動
	高齢者見守り活動(元気だったら旗を揚げておく)	
	高齢者等にやさしいまちづくり(シルバー110番のような)	
	「ありがとう」と言えるまちづくり	
	地域で協力し誰もが笑顔で暮らす街を(こけ丸活動)	
	光が丘公民館24年度成人学級生グループ	
相模原に冒険遊び場を作る会		
さがみパークゴルフ愛好会		
パルサーズ(公民館活動団体)		

暮らしの視点でみた魅力

資源の分野

	スポーツ施設	公園	自然・農業	道路・交通	大学	商店	祭事・イベント	活動
生活に便利である				電車やバスなど 交通網の充実		スーパーが多い のでチラシで比較 して購入できる 飲食店の 充実		
伝統を伝える		鹿沼公園 「でいらぼっち」 の伝説					上溝 夏祭り	お雛子など 伝統芸能の 伝承活動
交流が生まれる	体力作りと交 流の場になっ ている 安価で使える施設が あるので、運動のき っかけ作りや交流が生 まれる		おいしくて 安全な 直売所	各団体が植 栽や掃除を 行う散歩道	大学との交 流が深まる ことで地域 に若い力が 加わる	コミュニケー ションが生まれる 商店街	ふるさと 祭り わがまち フェスタ 上溝 だるま市	知識と知恵と 人材の宝庫の 地域活動
リフレッシュが でき癒される。		緑が多く 花が多い 湧水が流 れている 子どもか らお年寄 りまでの びのびで きる芝生 広場	河川敷や 川など 農地のある 風景	幹線道路 の植栽 ジョギングや 散歩が しやすい道路 桜並木など の街路樹の 植栽		おいしく居心地 のよいカフェ		町内 花いっぱい 活動
高齢者に優しい	健康体操等 が出来る場 所がある	のんびり 過ごせる				高齢者にやさしい 商店街		一人暮らし のお年寄り などが、楽 しく交流し ながら食事 ができる場 所がある シルバー110 番や見守り 活動
安心・ 安全を感じる				歩道・自転車 道・車道と区 分された道路				自主防災隊 活動 防犯活動 小学校の見 守り活動
子どもが楽しめる 子育てがしやすい	子ども、若者 がスポーツす る施設がある	遊べる環境 ホテル観賞 ができる	遊べる環境		子育て広 場の開催	子どもにやさしい 商店街 子育てサロン 交流広場	泳げ鯉のぼり 相模川 相模 ねぶた カーニバル	子育て中の母親 がリフレッシュで きる公民館講座 がある

暮らしの視点で見た魅力

テーマ1グループ 「中央区のすばらしい地域資源をつなぐ取組み」

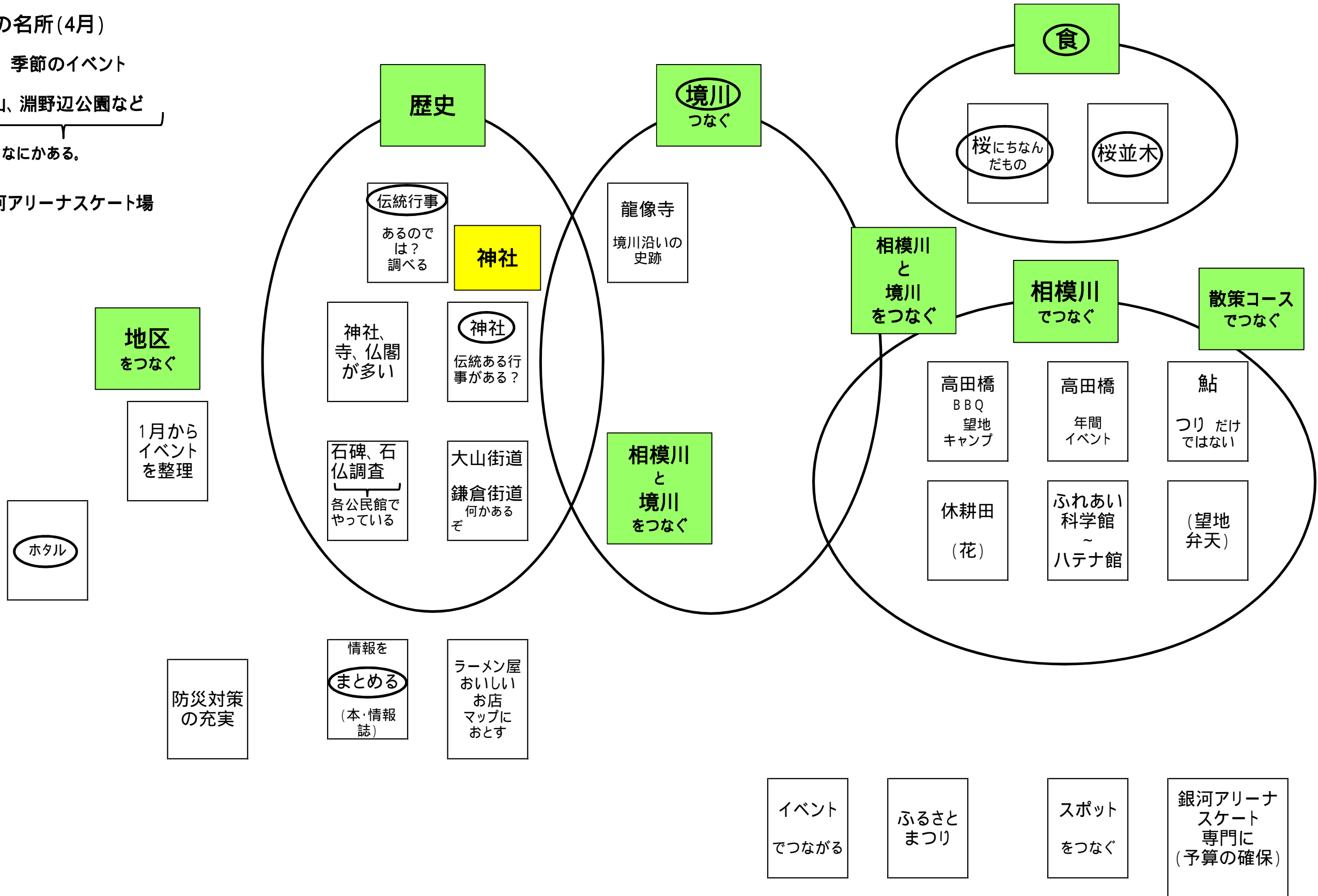
桜の名所(4月)

↓ 季節のイベント

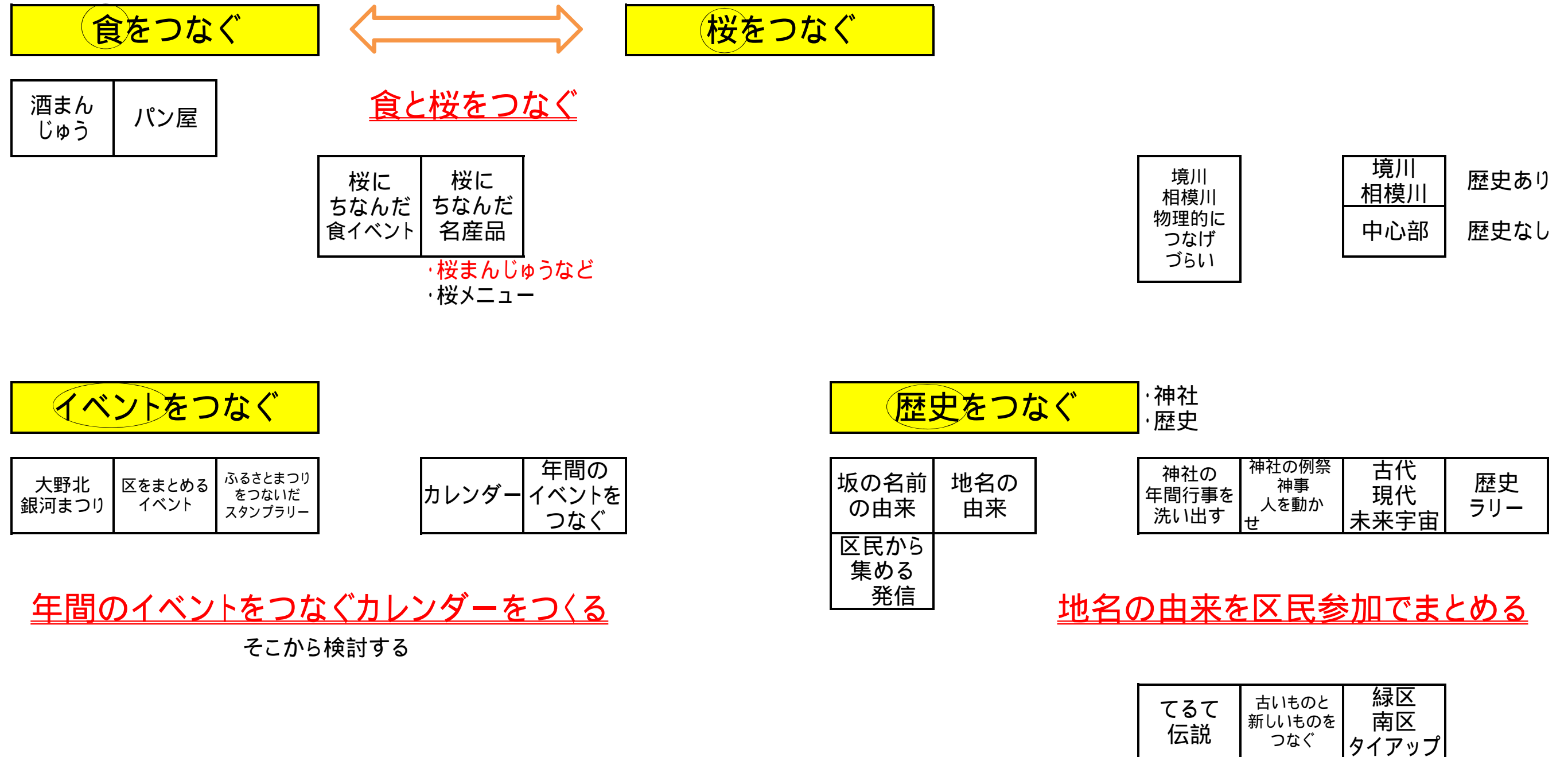
横山、淵野辺公園など

毎月なにかある。

銀河アリーナスケート場



テーマ1グループ 「中央区のすばらしい地域資源をつなぐ取組み」



テーマ2グループ 「世代や地域をつなげ、絆を生む取組み」

【提言の内容要素】
 タイトル:「世代や地域をつなげ、絆を生む取組み」
 取組みの内容
 ・概要
 ・現状の課題と対策
 ・取組みの効果
 実現方策
 ・協働の内容、担い手
 ・活用する資源、巻き込み方
 ・経費

課題

中学、高校、大学生の地域のつながりが少ない(自治会内)	中・高・大学生が地域と関わりづらい
世代ごとに属するコミュニティが固定化されていて、相互の交流が少ない	世代間の交流うすい

地域との関わりが薄いとイベントに行きづらい	地域の様々な活動に無関心な人が多いように感じる	地域への関心うすい
自治会加入率が落ちている	お年寄りの1人住まいが多いが、地域にもっと溶け込むには...	地域の情報がなかなか得られない
世代や地域がつながることの意味合い、効果が理解されていない	世代(若い、年齢層の高い方)をつなぐ絆ができていないので、どうしたら生まれるか	隣近所でも「あいさつ」が少なくなってきた(ように感じる)

若者世代の地域の担い手が少ない	地域の指導者が高齢化している
地域活動の担い手が少ない	自治会役員になる方少ない
民生委員のなり手が少ない	子供会の役員をやらないので子供会から抜ける
子ども会 青少年部	担い手不足

地区を越えた交流の機会が少ない(ない)	区民の交流がない(地区内の交流のみ)	地域をまたいだ交流がない
---------------------	--------------------	---------------------

コミュニティ施設が少ない	商店街 空き店舗	交通 自転車のマナー
その他		

アイデア

これからは若者を含めた「まちづくり」を進めていきたい	若い世代の遊び心を交流につなげたい	9地区の特色を活かした9地区参加のイベント、中高大学生主催の若者祭
若い世代の参加をどうするか取り組みたい	区内のイベントには「アートラボはしもと」を始め、美大の若い力を積極的に取り込むことができるよう枠組みを作ったらどうか	世代間の交流イベント
大学(学生の力)		
祭事とイベント		

世代間の交流

中央区内の交流

中央区独自の区民交流イベント(祭り、名所、遺跡巡りツアー等)

お祭りスタンプラリー(中央区のお祭りをめぐり、地区に行くことができる。行ったことのない祭り、地区に行くことができる。)

区民のつながり・地区間の交流イベントとして(中央区の飲食店、その他地域代表で、グルメイベントの開催)

高校1年の娘は今年も上溝夏祭り、銀河まつり、橋本七夕まつりなど、各地のお祭りに楽しそうに友人と参加していた。駅や地域を回るバスで浴衣でも移動しやすければ、若い女の子や高齢者も参加しやすく、交流も進む

日常的な“つながり”を進めつつ、その“つながり”の成果を広く発表する場づくり
例:イベント等

3つの区(南、中央、緑)の交流イベントを中央区でやりたい

組織・枠組みづくり

子ども会上の世代が参加(親の負担軽減)	子どもと老人会の交流
子ども会と老人会を一緒にする	自治会の育成部(子ども会の代わりに)
世代間や異なる地域団体が相互交流するための組織づくり	子育て中の方々と子育てを終えた方々の交流の場づくり

情報

情報提供、ホームページ、ブログなど	特技などの登録オープンに!	双方向メディアを活用した地域情報の共有
-------------------	---------------	---------------------

土台

誰しものが共感できる価値観の再発見、あるいは創造

“つながり”(まちづくり)の土台づくり「あいさつ運動」の推進

安全・安心なまちづくりにもつながるのでは!

土台の強化「声かけ運動」の推進

高齢者、障害者の見守りにもつながるかも!

数字は、左の課題の番号

テーマ2グループ 「世代や地域をつなげ、絆を生む取組み」
アイデア検討シート

目的	世代間の交流	地域間の交流												
アイデア	イベント													
対象は？	中央区全体	子ども	若者	高齢者										
種類は？	(大)	鑑賞型			(中)	鑑賞 + 参加型			参加型		(小)			
(広がり) 中央区内のイベントは？	市民桜まつり	相模川納涼花火大会	泳げ鯉のぼり相模川	さがみ風っ子展	大野北銀河まつり	わがまちフェスタ	相模ねぶたカーニバル	とりの市	ふるさとまつり	盆踊り	公民館まつり	こどもまつり	夢クラブ芸能大会	
	さがみはらフェスタ		上溝夏祭り					だるま市					上溝レクリエーション大会	
区外でも良いと思われるイベントは？	相原神社夏祭り	橋本七夕まつり	大道芸	世界かかし大会	仮装大会	桜美林の大学祭	区民(地区連)大運動会							
なぜ？	見る人が楽しめ	参加者も楽しい	盛り上がる				気軽に(サークル単位で)参加できる	オリンピックも来るので運動がよい						
イベント実施の課題は？	担い手	会議の参加	予算	中止の時のリスク	雨天対策	ゴミ								
	組織づくり													

テーマ2グループ「世代や地域をつなげ、絆を生む取組み」

「中央区らしさの魅力の創出」というテーマのもと、グループに分かれて取組みの提言に向けて検討を進めている中、テーマ2「世代や地域をつなげ、絆を生む取組み」を検討するグループでは、取組みの1つとして交流イベントについて話し合っており、取組みの提言に向けた参考とするため、区民会議委員の学識経験者2名を除く23名を対象に、住まいの地区で開催されているお祭り、イベントに関するアンケート調査を実施しました。

イベントに関するアンケート結果について

- 問1 地区で実施されているイベント名についてお答えください
「ふるさとまつり、地域活性化イベント、運動会など」 21件
- 問2 そのイベントにどのように携わられていますか
1. 主催者として 問3へ 16件
2. 参加者・来場者として 問7へ 5件
- 問3 イベント実施にあたっての課題は。(複数回答可能)
- | | |
|-------------------------------|-----|
| 1. 参加者や来場者が集まらない | 1件 |
| 2. 予算(収入)の確保 | 6件 |
| 3. イベント内容の固定化 | 6件 |
| 4. 主催者(実行委員等)の負担が大きい | 10件 |
| 5. 主催する役員が固定化している | 6件 |
| 6. 準備や運営に携わる人員(協力動員者などを含む)が不足 | 3件 |
| 7. 会場や駐車場などの確保や調整が困難である | 1件 |
| 8. 雨天時の対応 | 6件 |
| 9. その他 | 1件 |
- 問4 課題解決に向けた取組みについてご記入ください。

- ・役員が年寄になっており、若者リーダーの育成が必要
- ・イベントの内容が固定化しており若者による企画が欲しい
- ・以前の役員(自治会長等)や社会福祉に関心のある人に個別に声掛けをしたり、役員が知り合いを連れて来る
- ・運動会と同時開催している(ふるさとまつり)
- ・自治会に動員依頼をしているが、午後3時前には終了し役員に負担軽減を図っている
- ・近隣の会社に金品の厚志をお願いしている ・スポンサーの拡大
- ・地区連、商店街、公民館利用団体の他、大学などにも協力してもらっている
- ・役員の子世代交代のための意見交換会を実施 ・経験豊かな役員に指示を仰ぐ
- ・学生参加によるアイデア等の新しい企画 ・主催者側で色々な意見交換をしている
- ・十分な準備期間を設け、役割分担を明確にしている
- ・子ども会の母親も出来るだけ協力し、準備や当日の手伝いをする
- ・何かあればすぐに自治会長や子ども会長と話し合い決定する

問5 そのイベントは、地区の多くの区民が参加して企画・運営していますか

- | | |
|------------------|-----|
| 1. 多くの区民が参加している | 10件 |
| 2. どちらともいえない | 5件 |
| 3. 多くの区民が参加していない | 1件 |

問6 問5で「1」を選んだ方にお聞きします

地区の多くの区民が参加できるイベントにするため、どのような工夫や実践をされていますか。その内容をお書きください。

- ・PRの工夫
- ・毎回、参加担当全員で反省会を実施し、多くの人たちに参加できるようにしている。
- ・子どもをステージに参加させる。
- ・子どもの遊べる場所を設ける（動物園・ファファ・ミニSLなど）
- ・運動会では、子どもの出場機会を多くしている
- ・全自治会が模擬店や競技に参加している
- ・地区の各団体の代表者に実行委員として参画していただいている（自治会、老人会、子ども会、PTA、小中学校、社協、民児協、消防団、公民館 他）
- ・全自治会にポスター掲示、回覧等協力依頼している
- ・大学の協力を得て、イベントの企画やごみの分別などを無償で協力していただいている
- ・地区の幼、小、中学サークルの参加協力
- ・商店街の全面協力
- ・小学生の参加の拡大（各小学校に依頼）
- ・区民のねぶた製作拡大
- ・自治会、商店街、民児協、福祉関係団体、大学生等の企画力が大切
- ・中央区のイベントとなっている為、広報は周知されている
- ・単位自治会が参加の音頭取りをしている

問7 イベントを実施（参加）したことによる成果（良かった点）は。（複数回答可能）

	問2で主催者を選択	問2で来場者を選択
1. イベントを楽しんでもらえた	15件	3件
2. 新たな人と人との出会いがあった	9件	3件
3. 世代間の交流が図れた	10件	3件
4. 新たな担い手の確保につながった	7件	1件
5. 地域活動への関心を持ってもらえた	11件	3件
6. その他	0件	3件

問 8 ご意見をご自由にお書き下さい。

【主催者】

- ・「こいのぼり」実施に向けての下準備が大変である。田名地域の自治会・OB・婦人会が参加するも、年々人数の確保が大変である
- ・企画にボランティア（自由参加）、個人参加することで新しい人と人がつながると思う。
- ・地域の方に対する PR を強力にしていく課題
- ・自治会間の交流が出来ている
- ・地区内だけでなく地区外からもたくさんの方が来ていただき楽しんでいただいている。
- ・地区に住む多くの人々に参加してもらえるように。
- ・地区内でも自治会により差があるが、段々と改善されつつある
- ・単なる思い付きでなく、地区の歴史、特徴を考えないといけない。
- ・若手活動グループが、地区開催イベントについてアンケートを実施しようとしている。役員会へ提案される。
- ・大野北銀河まつりは長い歴史があるのに市側の推進協力が不足している。JAXA の所在地として、宇宙に一番近い街「大野北」を市としてもっと支援してもらいたい。商店街の活性化をしないと、財源確保も出来ない。
- ・「大野北銀河まつり」を上溝まつり、大凧まつりなどの市の観光事業に準じた支援をし、シティーセールスの一大観光事業にして欲しい。

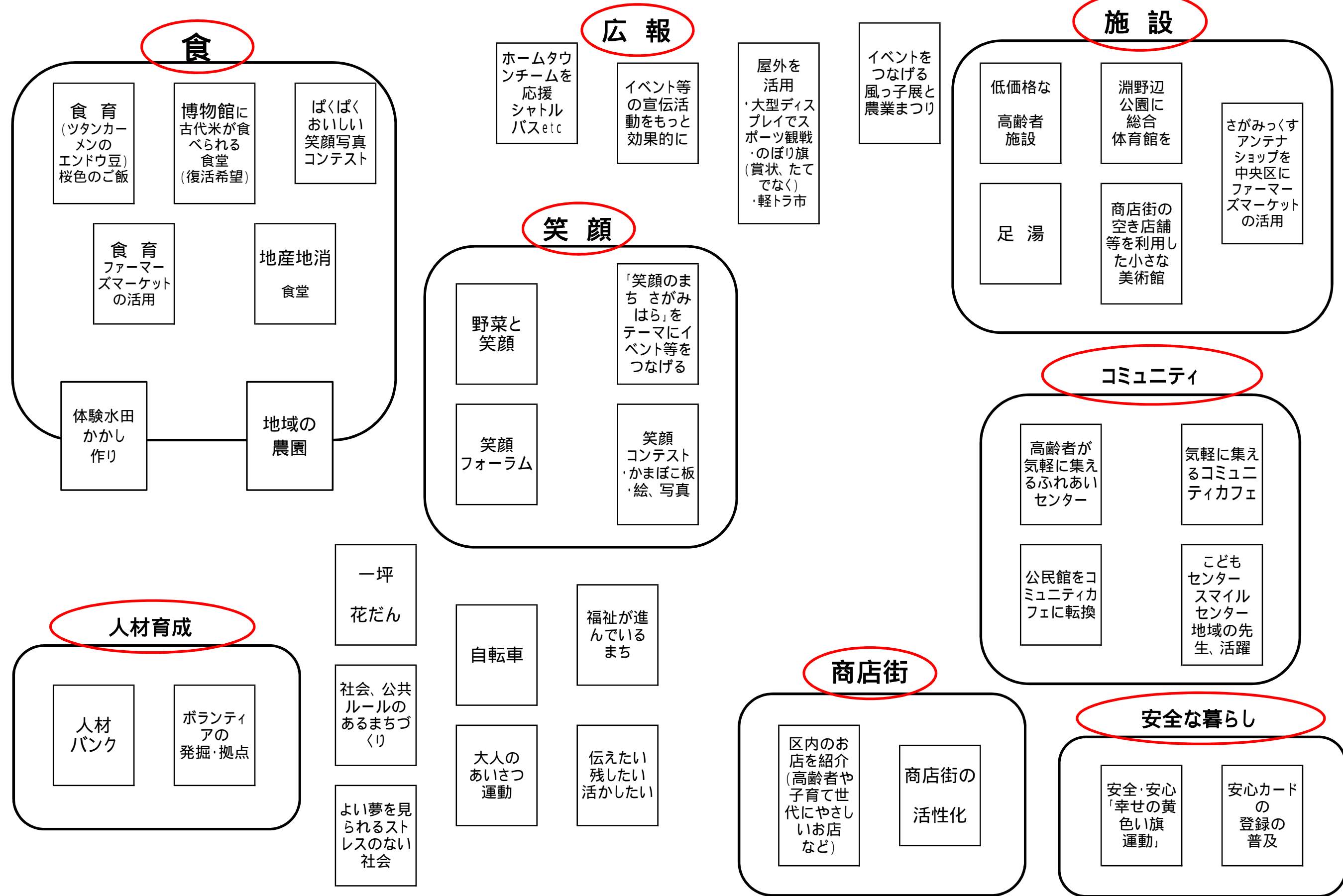
【来場者】

- ・まちづくりセンター、公民館や市の職員の方々も暑い中一生懸命頑張ってくださいている。地域をあげてのお祭りという感じで、もっともっと参加者が増えて楽しんでいただけると良いと思う

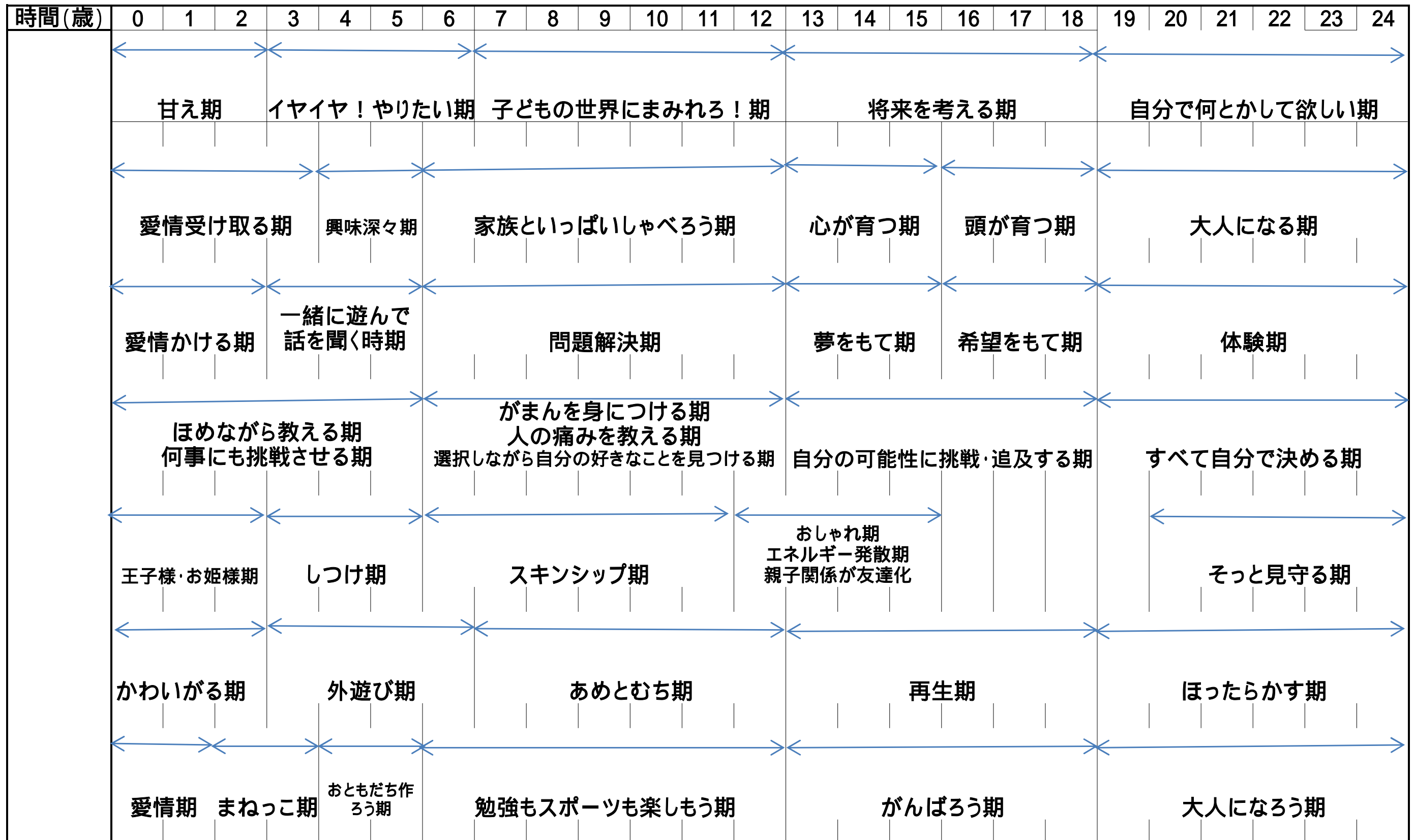
テーマ3グループ「人々の笑顔や活力があふれる取組み」

気軽に集える コミュニティカ フェ	地産地消	費用負担の 少ない 高齢者施設	笑顔コンテスト (絵、写真)	いい夢を見れる ストレスがない 社会	あいさつ運動 (大人も)	公民館をコミュ ニティセンター に転換	「ぱくぱくおいし い写真コンテ スト」
皆で使える地 域の農園	かかしづくり	笑顔フォーラ ム ～笑顔のまち さがみはら～	食育 おいしいものを 食べるときの笑 顔が一番美しい	高齢者が気軽 に集えるふれ あいセンター	区内のお店紹 介 (高齢者にやさ しいお店など)	安全・安心なま ちづくり「幸せ の黄色い旗運 動」	
こどもセンター を皆が使える スマイルセン ターとして活用	中央区にアン テナショップ	施設ではなく 屋外の活用 ・大型ディスプ レイでスポーツ 観戦	風っ子展と農 業まつりのよう に複数のイベ ントの同時開 催	イベント等の宣 伝をもっと効果 的に	笑顔コンテスト ・かまぼこ板に 笑顔を描く	「笑顔のまちさ がみはら」を テーマにイベ ント等を笑顔につ なげる	
地域の先生と なる人材の発 掘の拠点とな る		・のぼり旗の活 用					

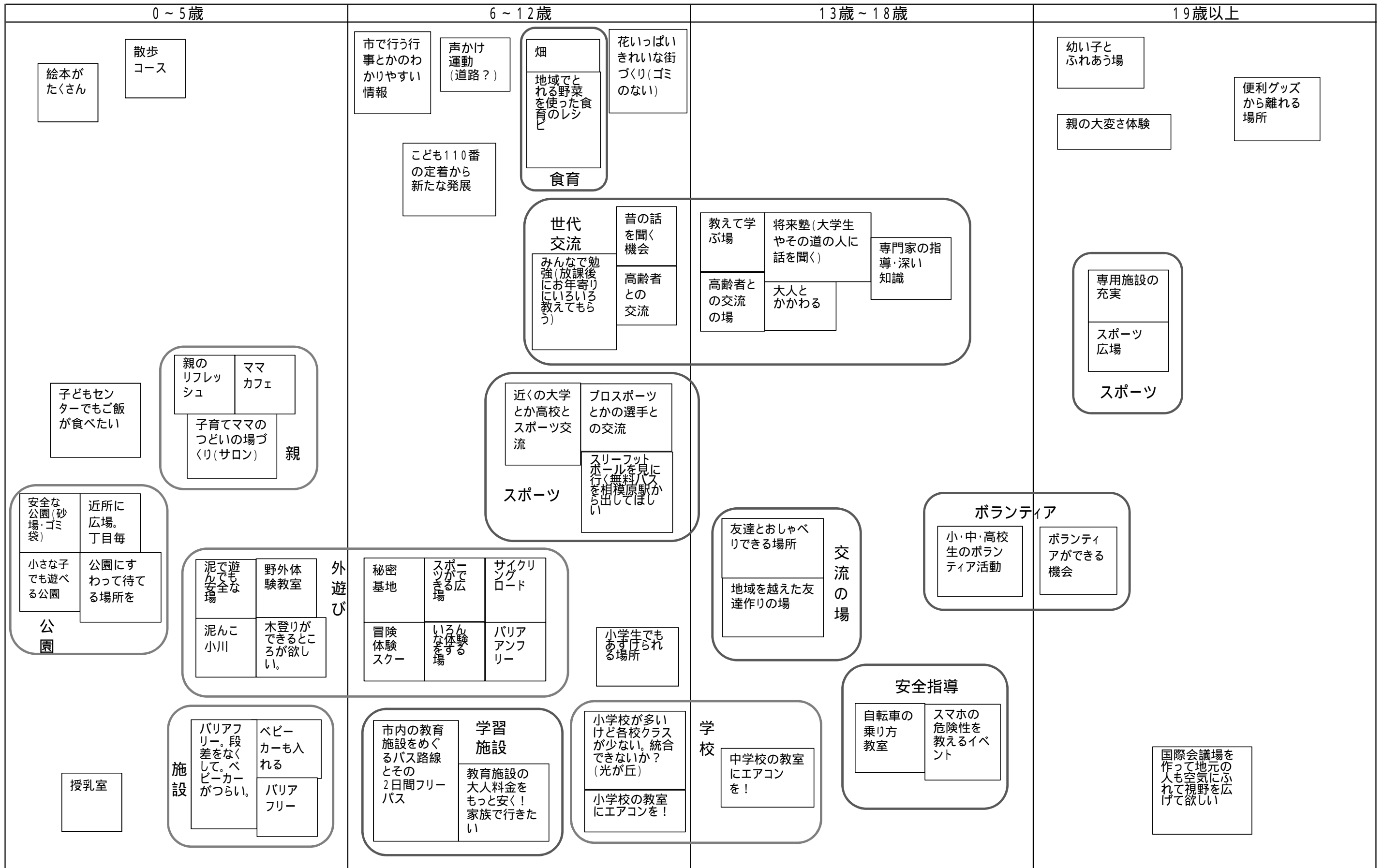
テーマ3グループ 「人々の笑顔や活力があふれる取組み」



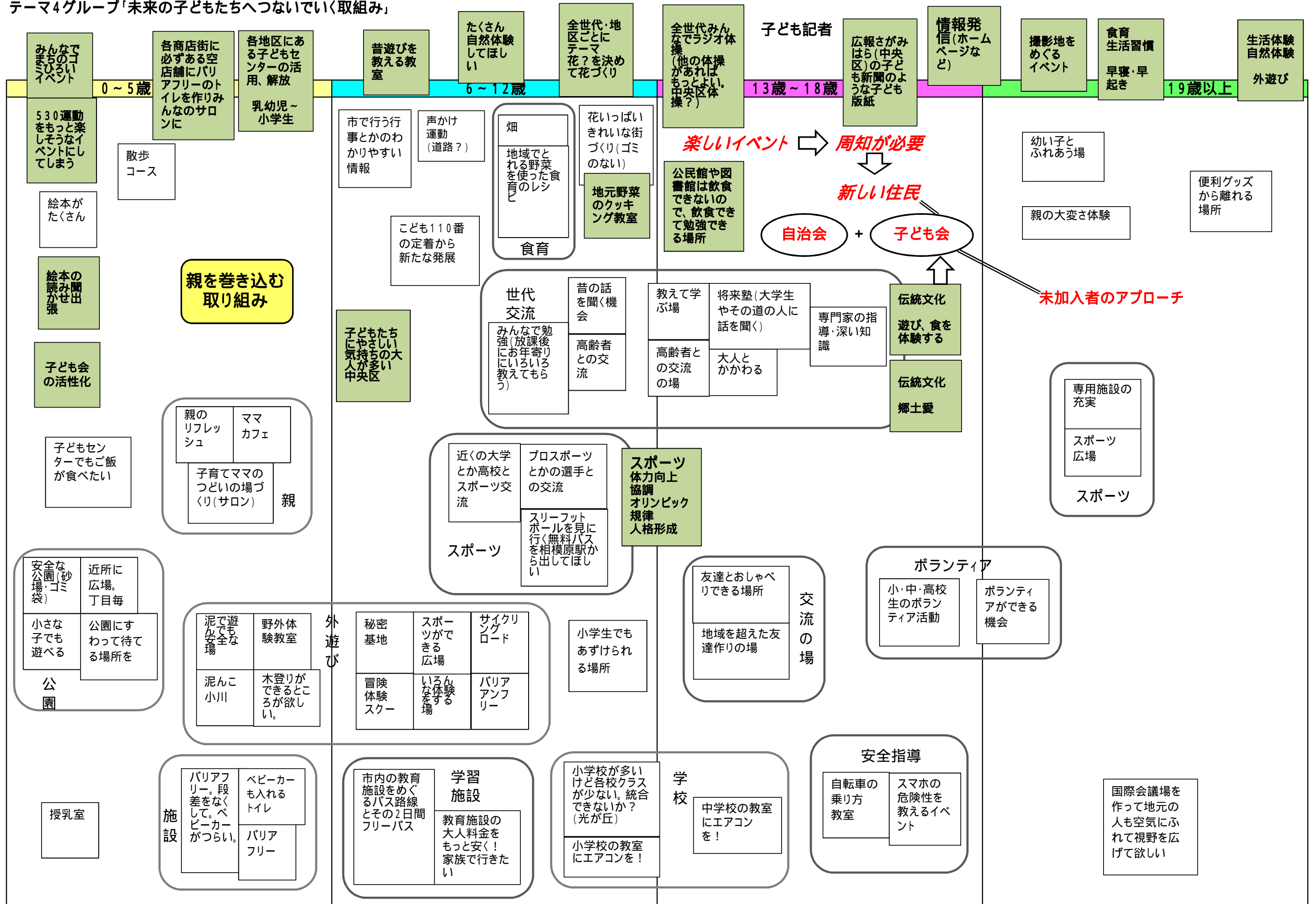
テーマ4グループ「未来の子どもたちへつないでいく取組み」 人生24時間ゲーム結果



テーマ4グループ「未来の子どもたちへつないでいく取組み」



テーマ4グループ「未来の子どもたちへつないでいく取組み」



めざす子ども像 (楽しいイベントはこのめざす子ども像の実現に向けたものを考える)

- ・健康で思いやりのある子ども
- ・豊かなところをはぐくむ
- ・人や地域や自分を好きになれる子ども
- ・友達いっぱいたくさん遊べる子ども
- ・人の役にたつ子ども

取組み(案)

子どもを対象にした楽しいイベントなど

例: ゴミ拾い・昔遊び教室・ボランティア
ラジオ体操(中央区体操?)
絵本の読み聞かせ・撮影地めぐりなど

子ども目線の情報発信(となりの自治会のおまつりはいつ?など)
子ども記者など

周知

効果

参加をきっかけに
子ども会や自治会の加入へつなぐ

中央区の魅力の発信

親も
まきこむ

新住民の方・活動に積極的でない方もをまきこむ

つながる！！

孤独にならない



相模原市中央区区民会議 報告書

発行 平成26年7月

相模原市中央区区民会議

編集 相模原市中央区役所区政策課

〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15

電話 (042) 754-1111(代表)

FAX (042) 757-2941

Eメール c-kuseisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp